

企画展「和歌山の文化財を守る―仏像盗難防止対策と近年の文化財修理―」  
ポケットブック

# 仏像を 盗難から守るために



 **和歌山県立博物館**  
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

本資料は、企画展「和歌山の文化財を守る―仏像盗難防止対策と近年の文化財修理―」  
(平成30年9月1日～10月4日)の開催に合わせて作成した普及用資料です。  
文章は大河内智之(主査学芸員)が作成しました。

# 仏像の盗難がはやっています!

<sup>ひんぱつ</sup>頻発する仏像の盗難被害。高齢化や人口減少等の要因で管理の難しくなった無住のお寺やお堂、神社が狙<sup>ねら</sup>われています。古美術品の売買は、インターネットのオークションサイトも含めて盛んに行われており、窃盗犯は換金を目的として犯行を繰り返しています。

大切に守られてきた仏像を、あるべき場所から奪いさる<sup>ひれつ</sup>卑劣な犯罪の被害に遭わせないために、緊急の防犯対策が必要となっています。

# 身近なお堂が狙われている?!

皆様がお住まいの地域で、共同で管理しているお寺やお堂、神社がありませんか。普段は無住むじゅうのところがほとんどで、窃盗犯が狙いやすねらいところですよ。

まずはそこに何かがあるのか、記録を取ってみましょう。一つずつ写真を撮っておくだけでも、万が一の時には捜索や取り戻しのための重要な情報になります。記録作りが、仏像や文化財を守る第一歩です。

## まずは何があるのか確認!

お堂の中の仏像や文化財の写真とともに、その寸法も計って記録しておきましょう。

仏像は、立像りゅうぞうの場合は頭の先から足下まで、坐像ざぞうの場合は頭からお尻までの高さを計ります。それとは別に台座や光背も含めた大きさを計っておくのもいいでしょう。掛軸かけじくの場合は、絵が描いてある本紙の縦と横の寸法。仏具などの工芸品は、高さや直径など。銘文があればそれも記録しておいて下さい。

# 文化財は歴史の証人です

仏像や文化財は、地域の人々が  
守り継いできたからこそ残されてき  
ました。中には、由来ゆらいを示す銘文めいぶんが  
書かれていて、たどってきた歴史が  
判明する場合もあるでしょう。

仏像や文化財を守るということ  
は、先人たちの生きた証あかしや、地域の  
歴史の証拠を守ることでありま  
す。そしてそれらを守ることは、そこ  
で暮らしてきた自分自身の歴史を守  
ることにつながります。



# こんなところは要注意!

盗難に<sup>あ</sup>遭いやすい場所があります。

- ① 遠くからでもお堂や神社が確認できる。
- ② 看板や地図でお堂が認知されやすい。
- ③ 車でそばまで入ることができる。
- ④ 進入路が人目に触れず、身を隠せる死角がある。
- ⑤ もちろん、<sup>む じゅう</sup>無住である。

こういう場所は窃盗犯にとって都合がよい場所なのです。皆さんのお住まいの地域にこういうお寺があれば要注意です。

# 窃盗犯がいやがる工夫を!

仏像の盗難を防ぐ特効薬はありませんが、<sup>せじょう</sup> 嚴重な施錠は効果的です。1つより2つ、2つより3つと施錠し、侵入に時間がかかると思わせられれば犯人は諦めます。

夜間は、人が近づけば光る投光器や、侵入すれば大きな音になる警報器があるだけでも効果的です。捕まりたくないと思っているやましい犯罪者が逃げ出したくなる手立てを、工夫して講じてみて下さい。

# 無関心がいらばん危ない!

仏像や文化財を守る最大の力。それは、みなさんが関心を持つことです。無関心なままでは、盗られたことにも、壊れていても気づきません。

ぜひ、お住まいの地域の仏像や文化財が持つ優れた魅力にお気づき下さい。それはきっと、地域のみなさんの心を結ぶ宝となるものです。

博物館ではこれからも、文化財を未来へと伝えるために、それらの魅力をたくさんお伝えしていきます。